



oinanyo 通信

2022年6月号 No.65

発行所

NPO 法人 おいなんよ

長野県飯田市桜町 1-9-1

Tel 0265 (23) 1803

Fax 0265 (48) 5803

oinanyo-15@bz04.plala.or.jp

【URL】 <http://oinanyo.net/>



村澤、山田さんと一緒に



小池



櫻井



若松さんと一緒に、古田



「おいなんよ」の食を支えている私たち。
年齢は様々、「美味しい」と言われる言葉が
励みに成ります。四季を織り交ぜ工夫する
昼食作りは楽しいものです。



西村、村山さんと一緒に



佐々木さんと一緒に、新田



福井



小嶋



高橋、玉井さんと一緒に



小原



酒井



原、梅村さんと尾澤さんと



橋爪



職員は撮影時のみマスクを外しています。



祝 白寿

おめでとうございます



おおせぎ別家のお二人様。

(左)玉井さんのつぎやき。「うまい
うまいと褒められて、作ったおかずは
なおうまいなあ」 2/3 節分「見た
だけで、おなかいっぱい腹いっぱい、
私が巻けばあほう巻き」

(右)熊谷さんは、お生まれになった阿
智が大好きです。

「ここに働きに来ています」

「私はご飯と味噌汁があれば十分」

(長寿の秘訣かな)



別家の看板が出来ました。

サライ松島 ↑

やっと 99 歳に成りました。

口癖は、「私は言葉がきついでしょ」
「色が黒くておでこが広いし、お上
手も言えなかった」

イエイエ、皆さまを観察する力は有
ります。毎回、休みの方を気遣って
戴いてます。井口薫さん 99 歳で
す。

5月24日(火)「第20回NPO法人おいなんよ」の総会が開かれ、今年もコロナ対策下の総会
でした。無事、新年度の予算・計画を認めて頂きました。ありがとうございました。さらに地域
と共に歩く、「おいなんよ」でありたいと思います。

某事業所の玄関に“白百合の香の溢れる宅老所”という句と百合の俳画が飾ってあります。
初めて来所されたご利用者様のご家族の作品だそうです。その話を聞き、私にとり何気ない句が
とても深いものになりました。複雑な想いを持って来所されたご利用者様・ご家族様、その気持
ちに伝える実践をしたいものです。皆様、今後も、「おいなんよ」にご教示下さい。

理事長 佐藤 敏子



各事業所では、梅
漬けで大忙し。
子どもからご利用
者様までお手伝い。
美味しい梅漬けが
出来ますように。



編集後記

カレンダーを見れば今年も2分の1が終わる。今年の前半はコロナ
が終息かと…そう甘くはなかった。ロシアとウクライナが降って湧いたかのよう
に世界を震撼させた。誰もが戦争は起きないと信じていた2月。戦争という文字
が再び、これは悲劇以外の何物でもない。まだまだ続きそうなロシアとウクライ
ナ。離散家族の心配しか出来ない。(い)

